

# 糖尿病の考え方と医療連携

医師 中石滋雄

# 糖尿病患者さんの質問に、どう答えますか？



- わたしは、食べすぎて  
もいないし、ふとっても  
いない。そこそこ運動も  
している。これ以上、ど  
うしろっていうの？



- ・全部、わたしが悪いんです。たべたらいけないものを食べて、ちゃんと節制しないのではちがあたったんです。

- おまんじゅうが大好き  
だけど、糖尿病だから  
もう何年も食べていな  
いんです。



# 糖尿病の考え方において感じること

- 糖尿病は**生活習慣と体質**の両方が原因でおこる病気であり、生活習慣の乱れだけがその原因ではないことがあまり知られていない。
- **健康的な生活習慣を送る**(体重を管理する・運動する)ということと、**血糖をコントロールする**ことがきちんと区別されていない。
- **その患者さんにとって何が一番重要なのか**があまり意識されていない。

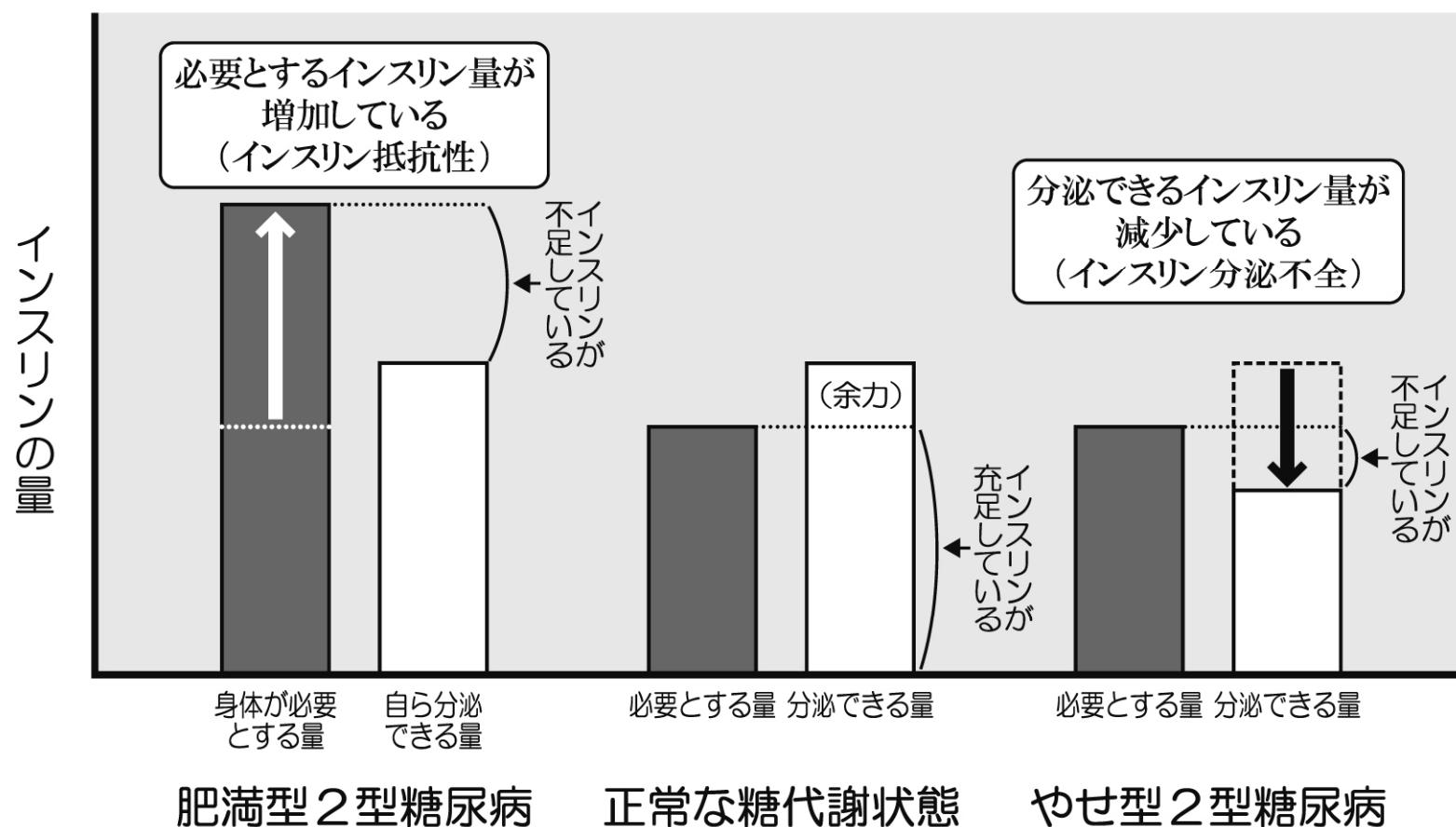
# 健康づくりと血糖管理

- 健康づくり
  - 適正な体重の維持・運動習慣・食事習慣
- 血糖管理
  - 健康づくりによる血糖の改善・**薬剤**による血糖の改善

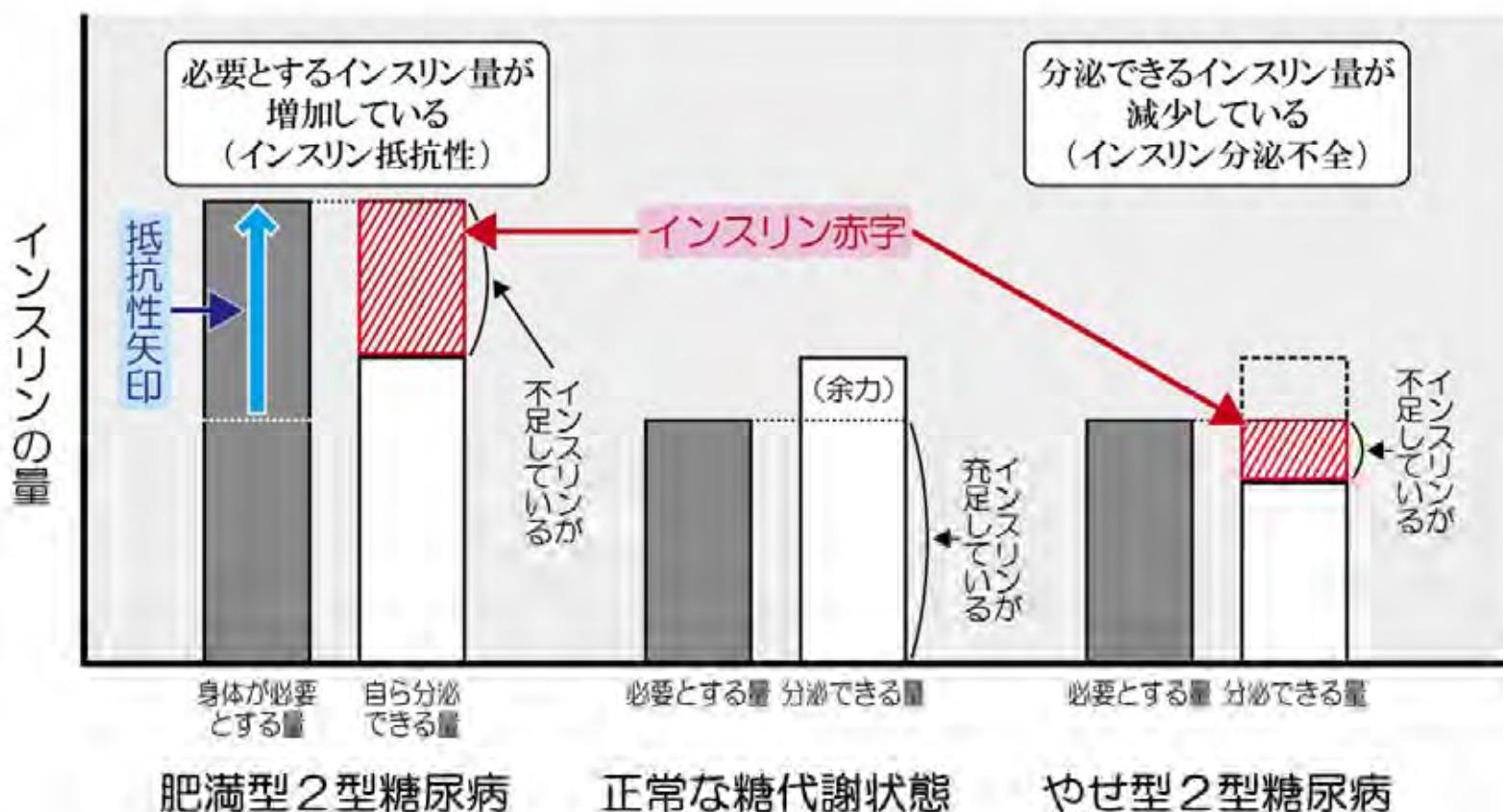
糖尿病患者では、健康づくりは**一石二鳥**

# 血糖管理の立場から

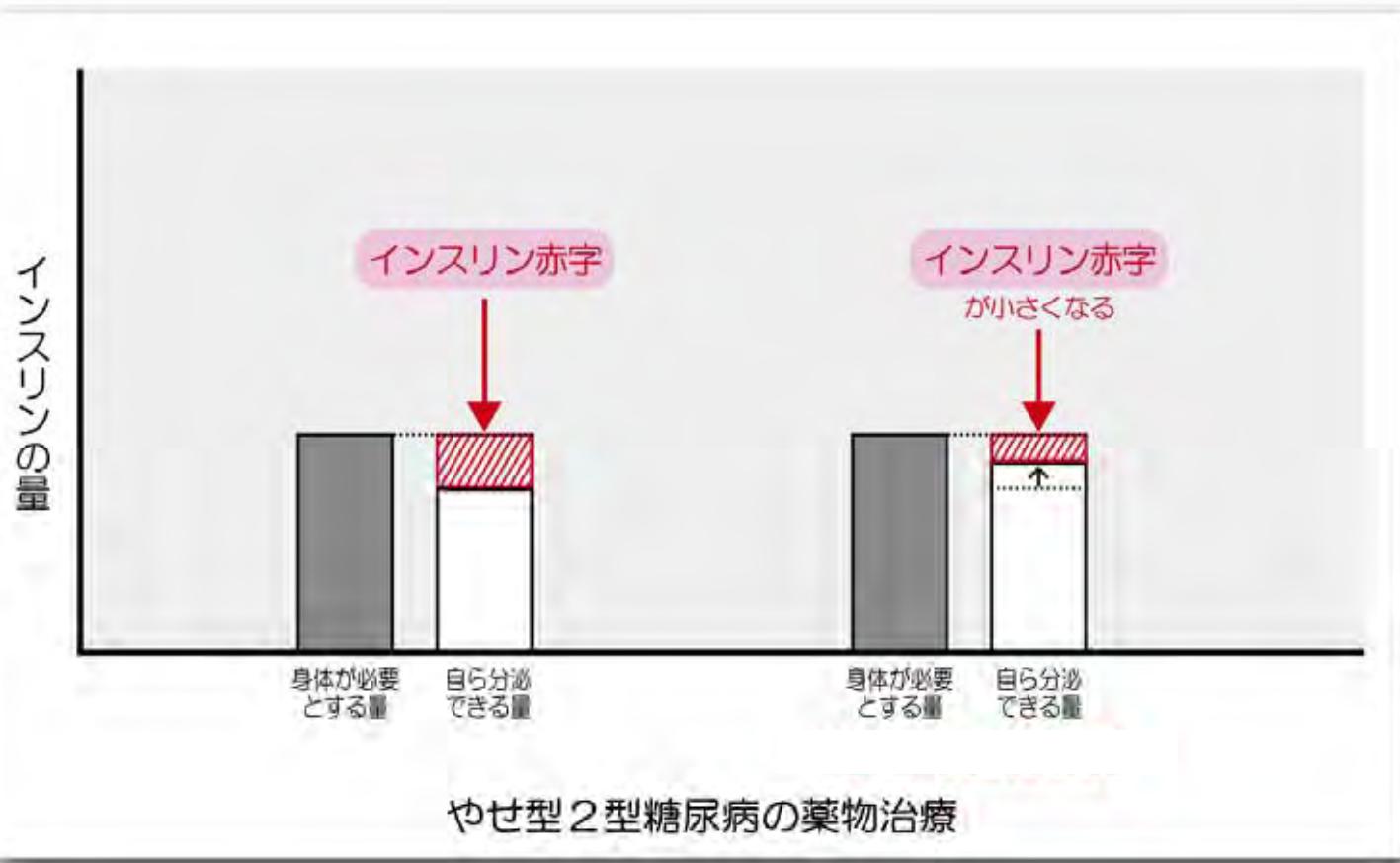
# わたししが用いている説明法



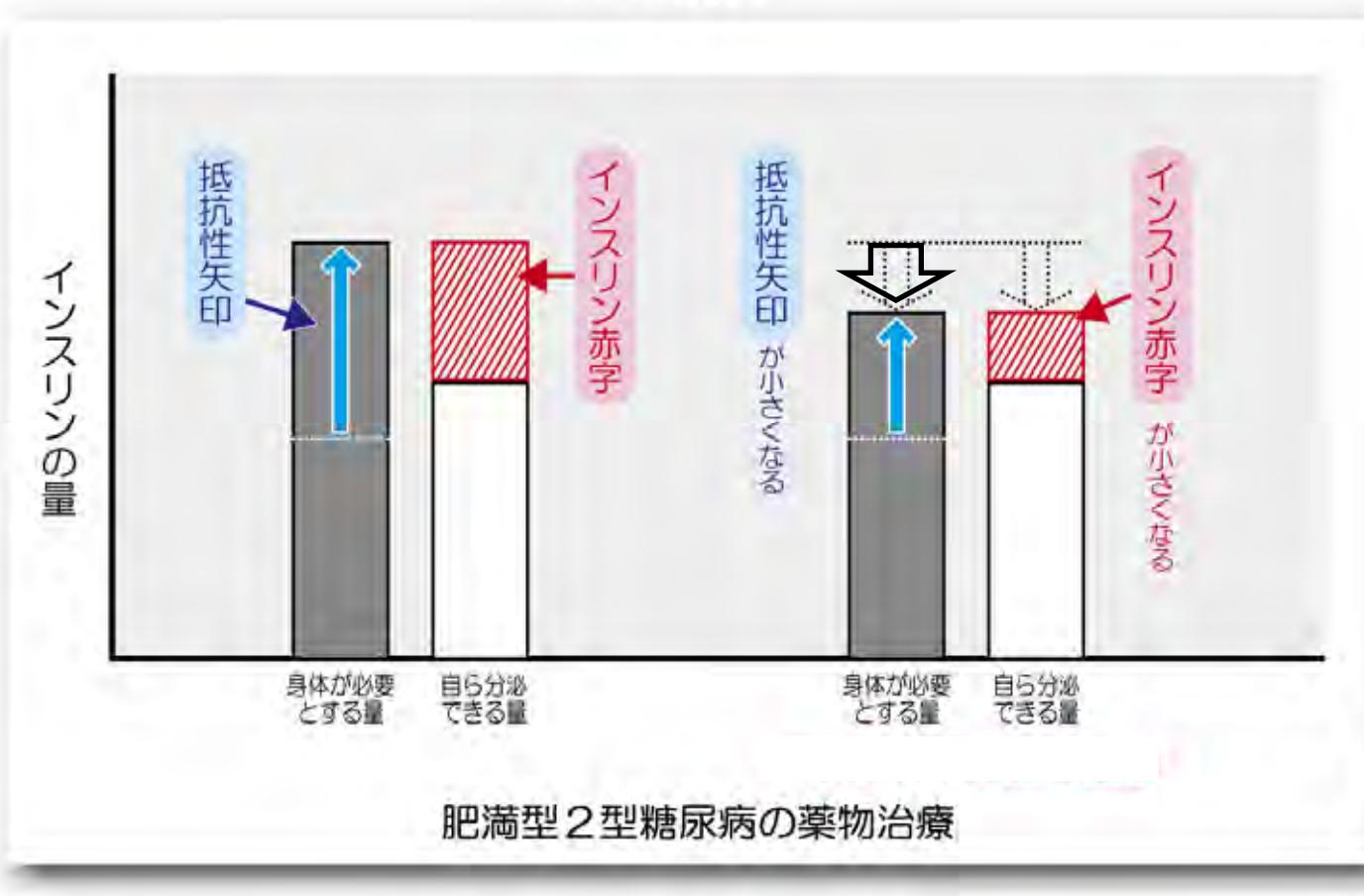
# インスリン赤字と抵抗性矢印



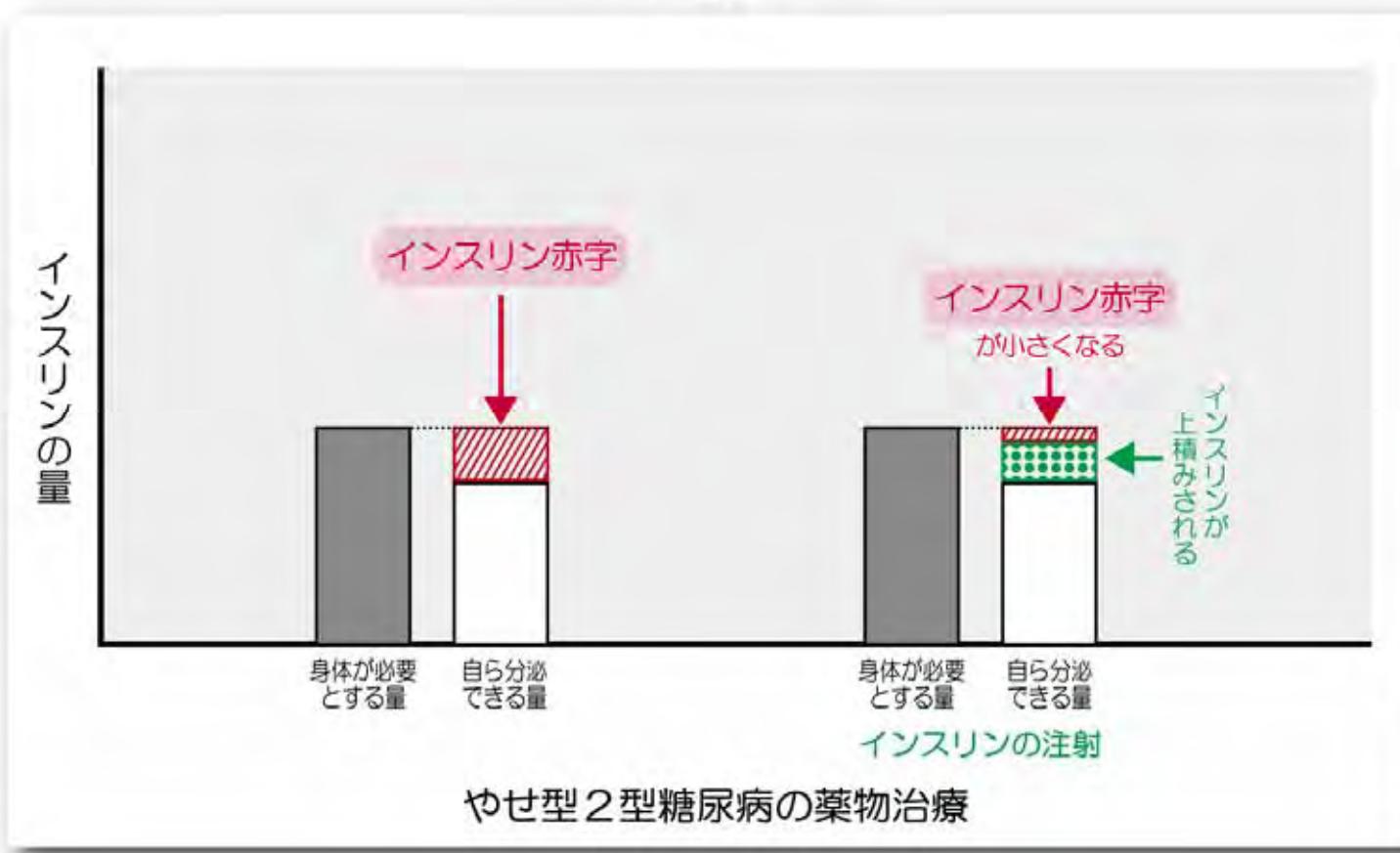
# インスリン分泌促進剤の効果



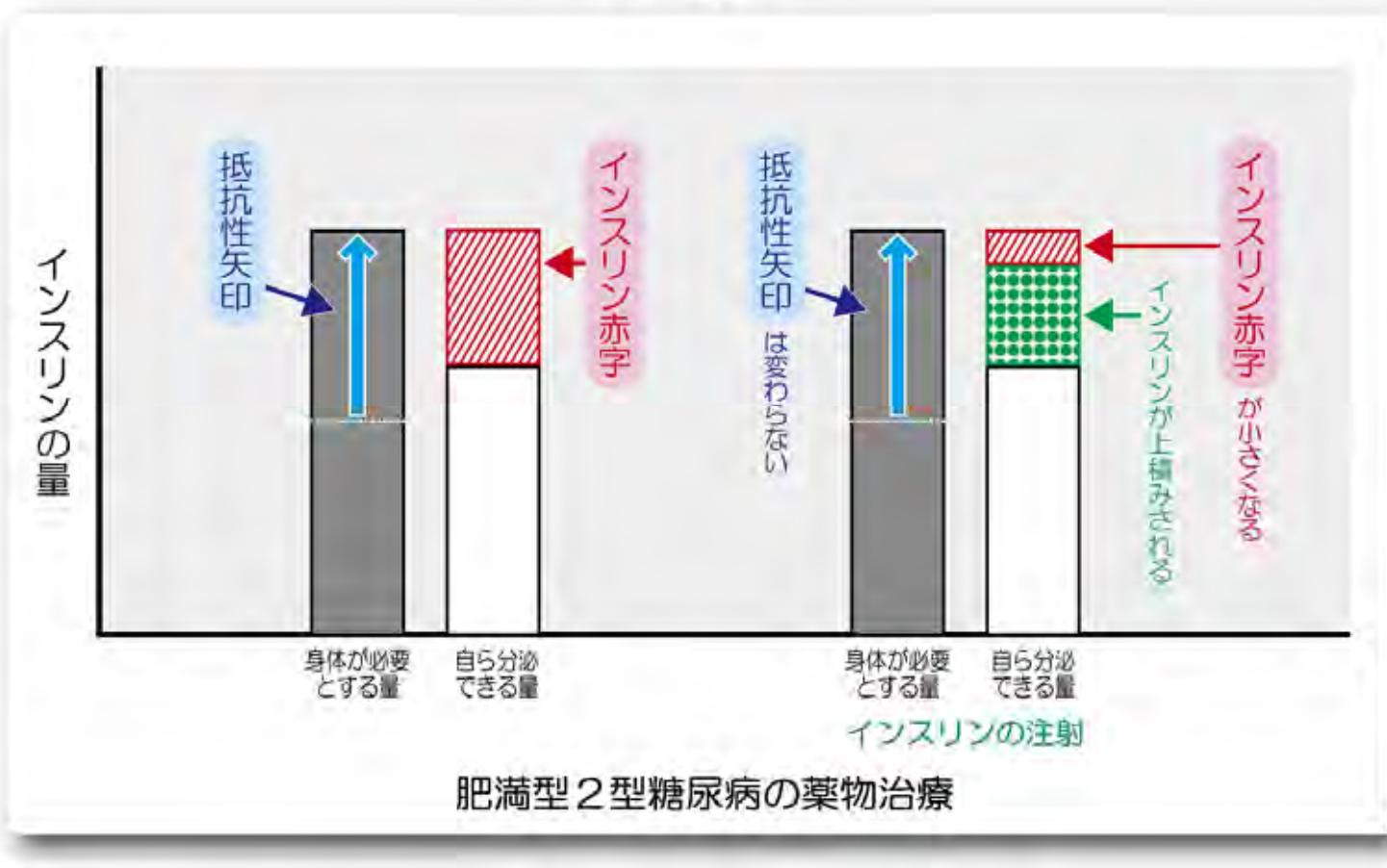
# インスリン抵抗性改善剤の効果



# インスリンの効果(やせ型)



# インスリンの効果(肥満型)

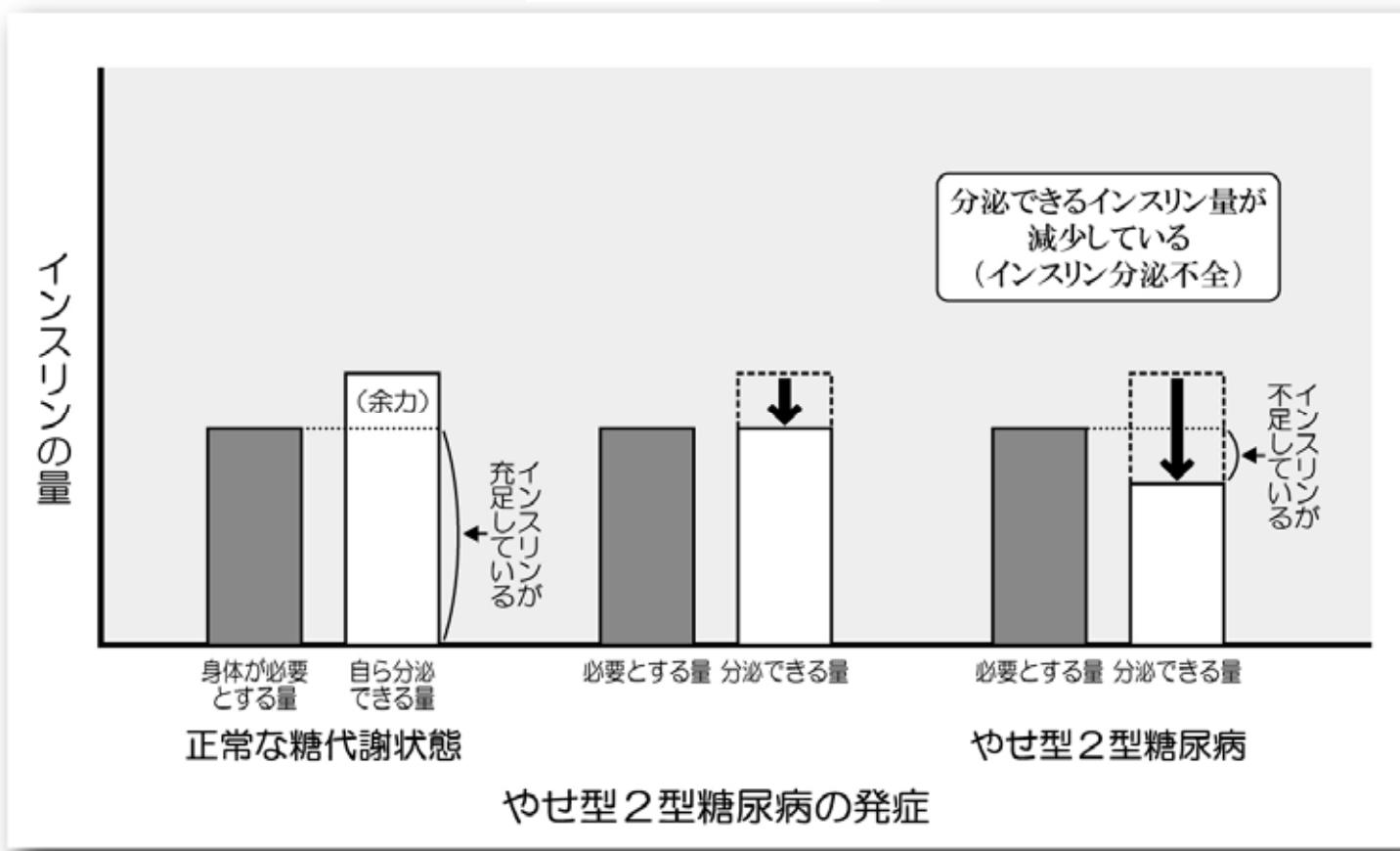


# 糖尿病薬物療法

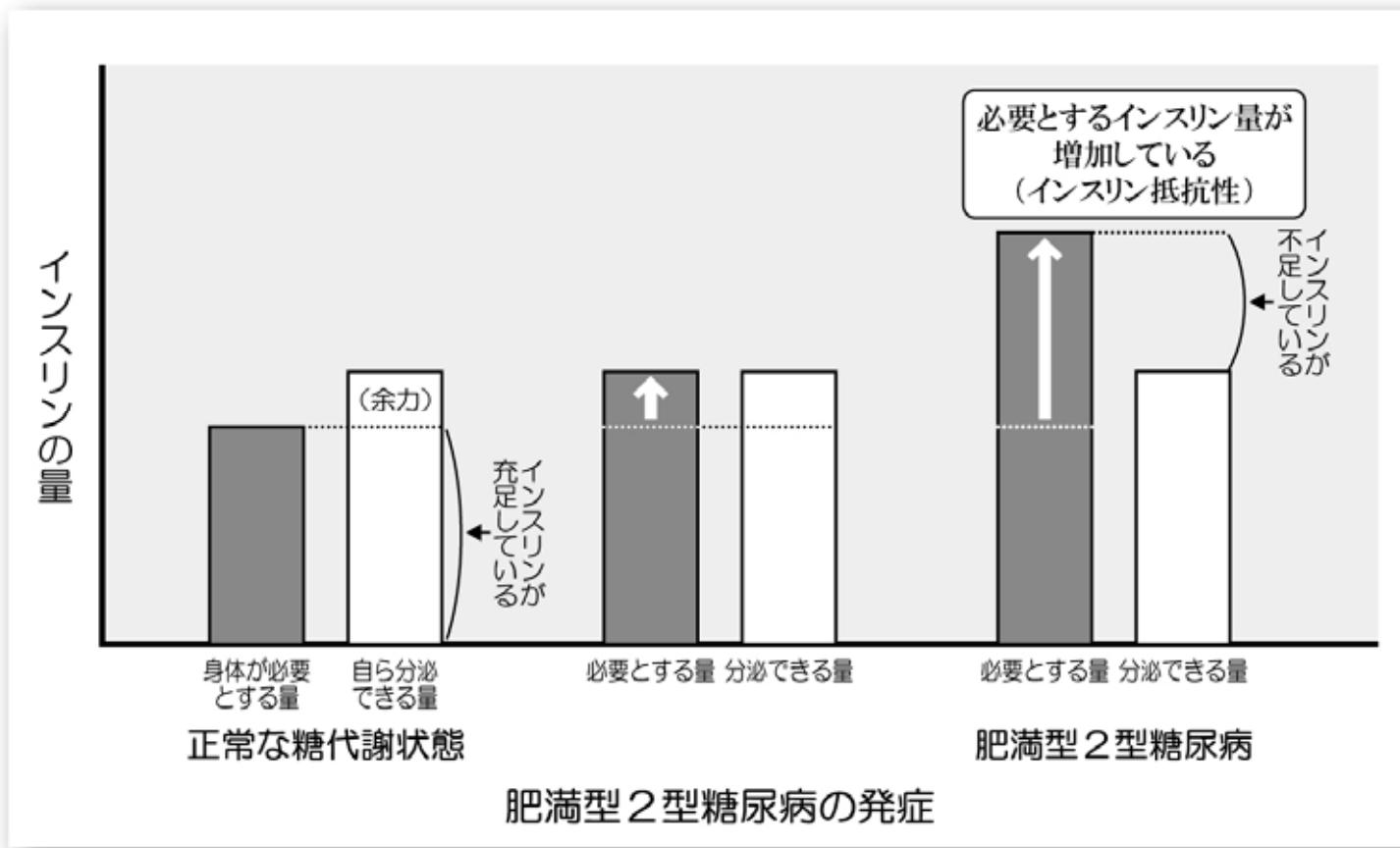
- 高血糖とはインスリンが不足していること。
  - インスリンを補う治療: よわい**体質**を助ける。
  - 自分のインスリンを有效地に用いる治療: 負担になる**生活習慣**を助ける。

**糖尿病はどのように発症するか**

# やせ型2型糖尿病の発症経過



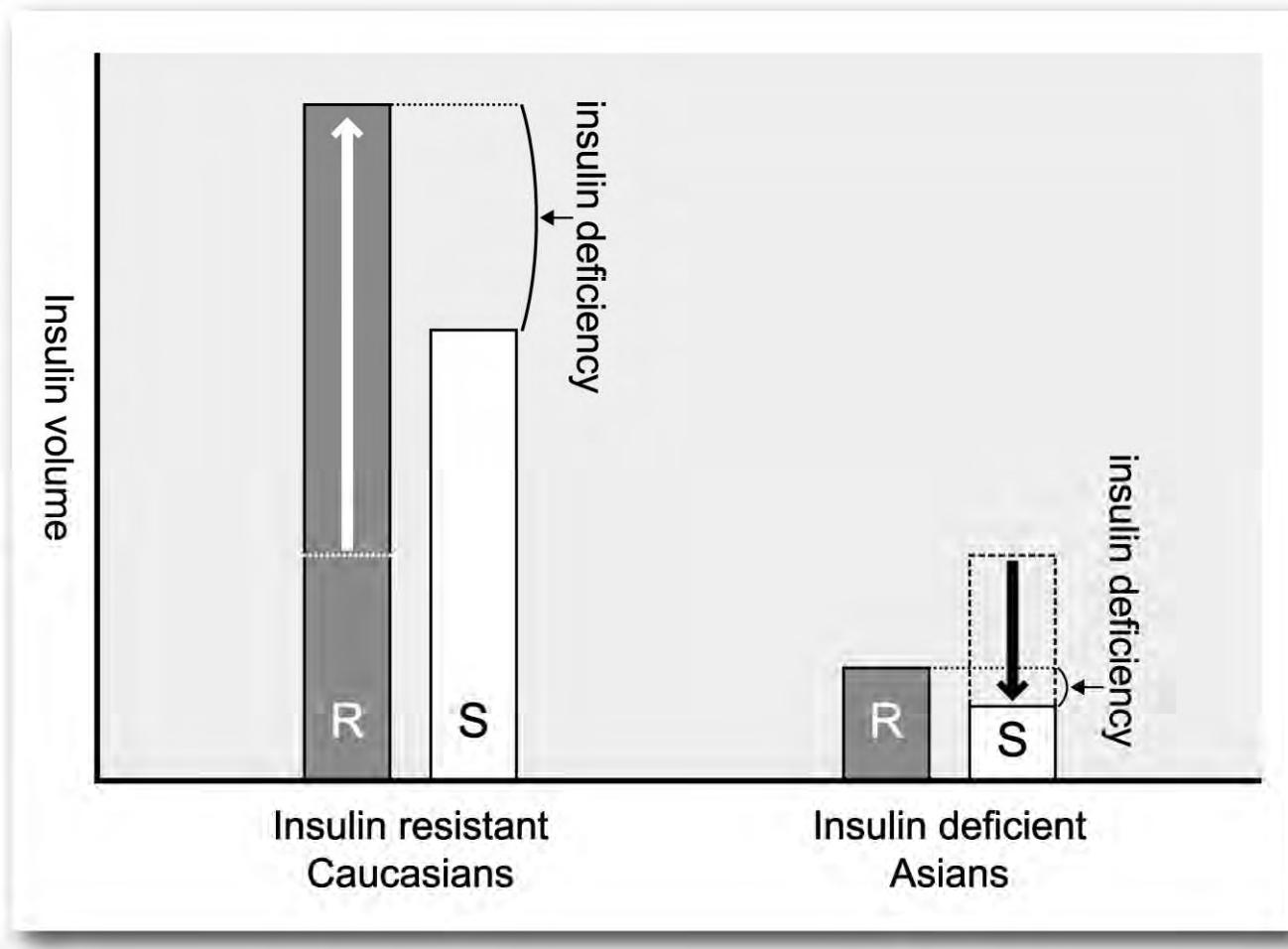
# 肥満型(メタボリックシンドローム型)2型糖尿病の発症経過



# 私の糖尿病の理解 1

- 糖尿病は体質と生活習慣があいまっておこる。特に、インスリンを出す力が弱いといわれている日本人では欧米人にくらべても体質の影響が大きい。

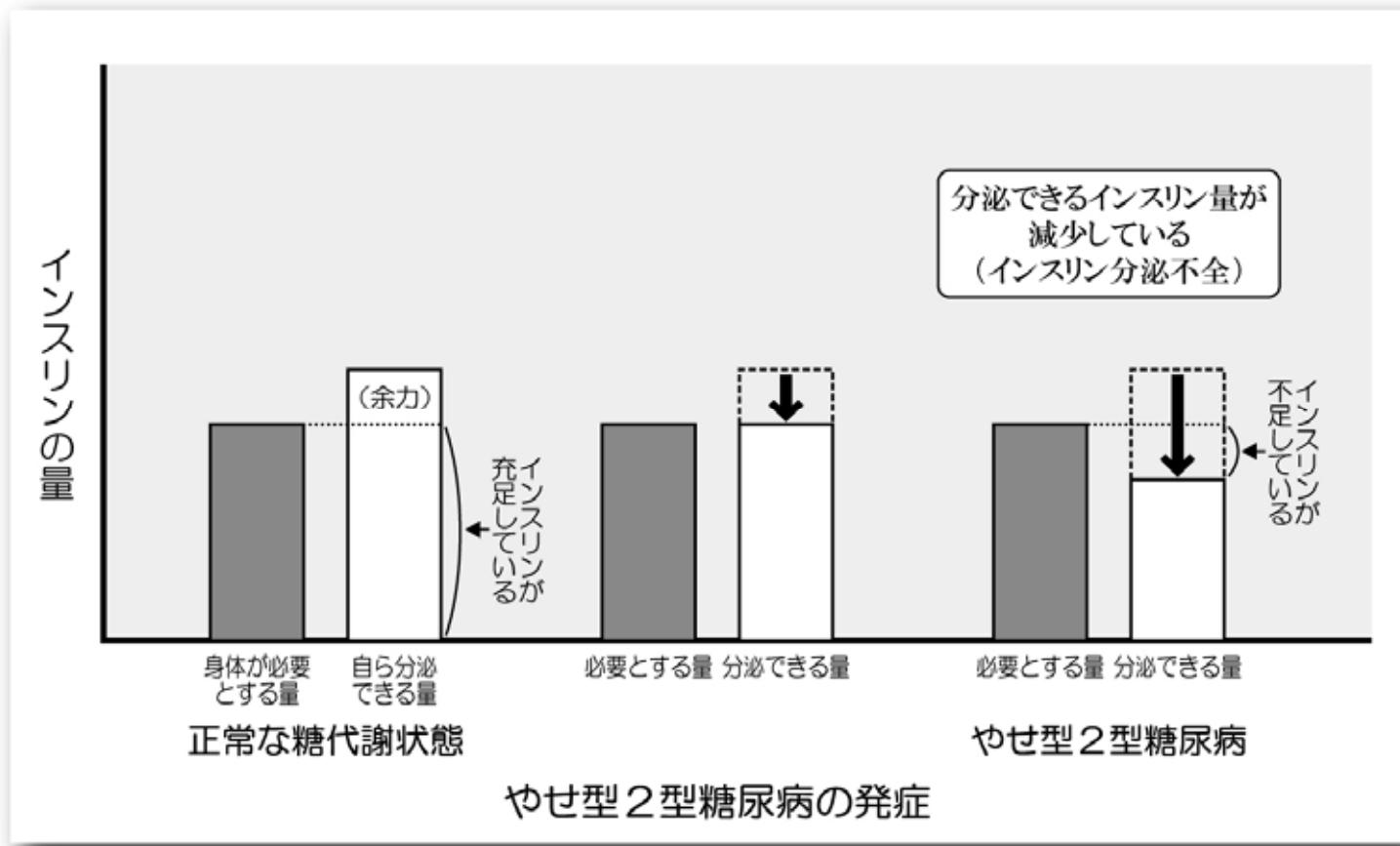
# 欧米人の糖尿病とアジア人の糖尿病



# 私の糖尿病の理解 2

- ・インスリンを出す力は年齢とともに低下する。  
高齢化にともない糖尿病が増加することはある意味では当然である。

# 加齢による糖尿病の発症経過



# 糖尿病患者さんの質問に、どう答えますか？

- わたしは、食べすぎてもいいし、ふとってもない。そこそこ運動もしている。これ以上、どうしろっていうの？
  - 体質の影響が大きいかもしれませんね。人間にとって、十分な栄養をとることがいちばん大切なことですから、そのために必要ならお薬を始めたり、増やしてみることも必要かもしれませんね。

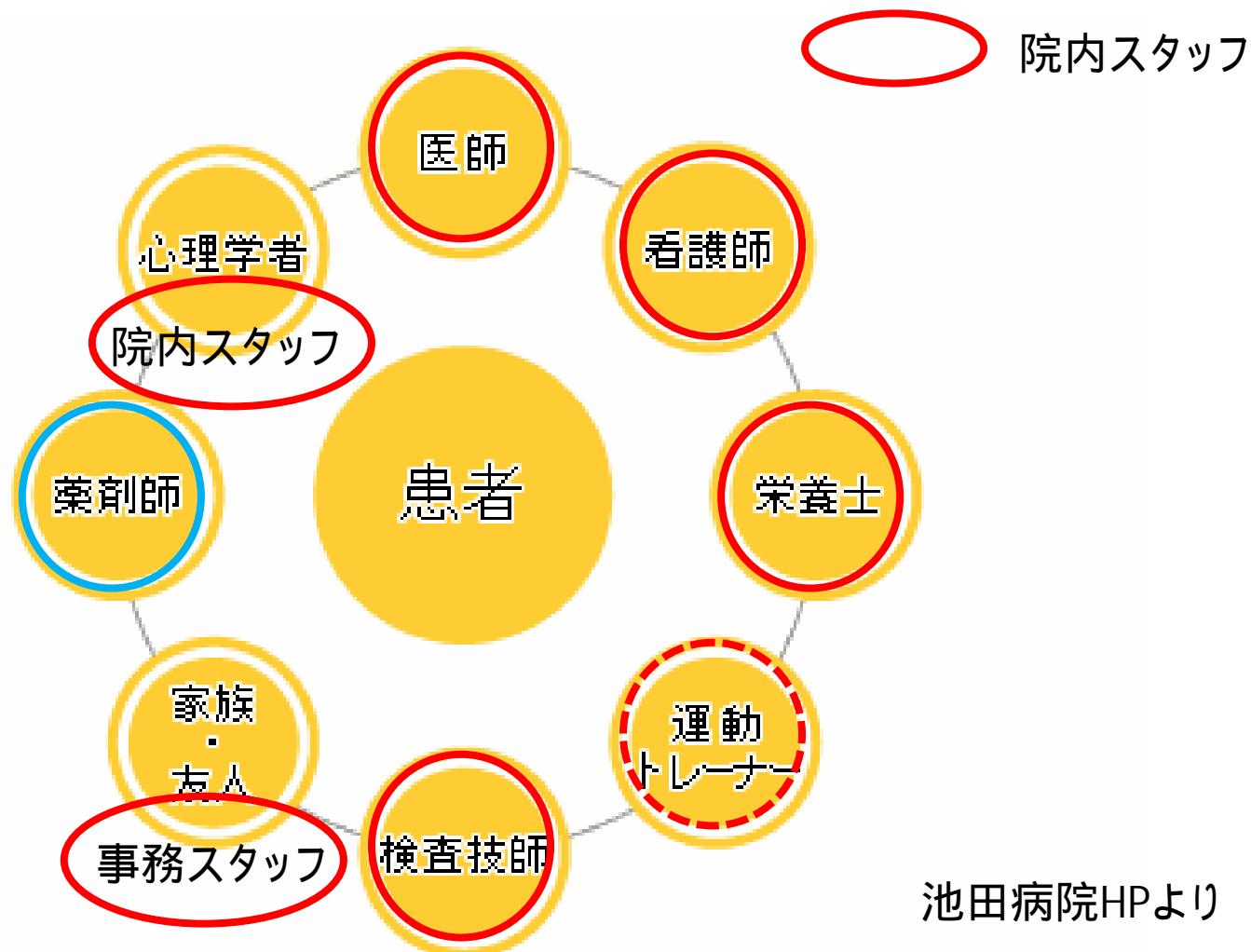
# 糖尿病患者さんの質問に、どう答えますか？

- ・ 全部、わたしが悪いんです。たべたらいけないものを食べて、ちゃんと節制しないのばちがあたったんです。
  - － たべたらいけないものなんてありませんし、ばちがあたったなんてことは絶対にありません。
  - － ただ、生活のどこを重点的に工夫するのがいいのかはよく知っておくほうがいいですよ。

# 糖尿病患者さんの質問に、どう答えますか？

- おまんじゅうが大好きだけど、糖尿病だからもう何年も食べていないんです。
  - おまんじゅう1個で糖尿病が悪くなることなんてありません。
  - おまんじゅうが自分にとって大切なものであれば、おまんじゅうを含めた食事の仕方を計画してみましょう。

# 糖尿病のチーム医療と院外処方



# 院外調剤における薬剤士のチーム医療への参加への課題

- 患者情報をどのように共有すればよいのか？
  - 現状では全く答えがありません。
- 処方箋という限られた文書で、有効な情報提供を行うにはどのようにすればよいのか？
  - 若干の工夫をこころみていますが、役にたつているでしょうか？むしろ迷惑？

# 処方箋への非処方薬の記載

加 典 せ ん  
(の保険薬品でも有効です)

1/1 ページ

保険薬局の  
所在地及び名称 中石医院

電話番号 (06)6191-7117  
保険医氏名 中石滋

処方せんの 手帳 年月日 (に記載のある場合はそちら)  
使 用 期 間 交付の日付をもとに保険薬局に提出する日

1 セルベックスカブセル50mg	3Cap	1日3回毎食後 (今回不要)	日分	
2 ガスター錠20mg	1錠	1日1回夕食後 (今回不要)	日分	
3 プロルモン EPLカプセル 25.0mg	3錠	3Cap	1日3回毎食後 (今回不要)	日分
4 マイスリー錠1.0mg	1錠	1日1回朝食前	20日分	
5 ノボリン30R在フレックスペ ン 300単位	1キット			
6 ノボラビット300フレック スペン 300単位	1キット			
7 レペミル300フレックスペ ン 300単位	1キット			
8 320ペーパーベンニードル	70本			

方 以下 空白

セ

備 考

保険薬局(フェキリック医薬品)への変更  
全て不可の場合、以下に看名又は記名・押印  
保険医看名

調剤済年月日	平成 年 月 日	公費負担者番号	□	□	□	□	□
保険薬局の 所 在 地 及 び 名 称 保険薬剤師 氏 名		公費負担医療 の受給者番号	□	□	□	□	□

今回不要という  
記載について

# 再開・增量・減量などの記載について

処方せん 1/1ページ  
(この保険薬局でも有効です)

1	2			
0				
保険所在店及び名前 中石医院				
電話番号 (06)6191-7117				
保険医氏名 中石滋雄				
患者さんの平成 年 月 日 (特に警戒のある場合は記さず) 使用期間 交付の日を含め4日以内に保険薬局に提出すること				
1	オイグルコン錠 1.0mg バイイン錠 2.0mg	3錠 3錠	1日3回毎食直前	30日分
2	メルビン錠 2.0mg アキネトン錠 1.0mg	2錠 2錠	1日2回朝夕食後	30日分
3	アクトス錠 1.5mg (再開) タナトリル錠 5.0mg アムロジン錠 5.0mg チラードンS錠 5.0μg メバロチン錠 0.0mg ラシックス20mg錠	1錠 1錠 1錠 1錠 1錠 1錠	1日1回朝食後	30日分
4	ネオマレルミンTR 6.0mg	1錠	1日1回就寝前	30日分
以下 余白				
備考 7			保険医薬品(フェニクリング無薬品)へ変更 全てボギーの場合は、以下に書き込みを記入 保険医薬品名	
調剤済年月日	平成 年 月 日	公費負担者番号	…	…
保険薬局の所在店 及び名前 保険医薬品名		公費負担医療の受給者番号	…	…

再開という表示について

# 天王寺区内の糖尿病クリニック



# 大阪の糖尿病クリニックの連携

## 大阪糖尿病専門医クリニックネットワーク

当ホームページのご説明

大阪府内ならびに阪神間6市(尼崎・西宮・芦屋・伊丹・川西・宝塚)に存在する無床診療所で、糖尿病専門医の勤務するものを日本糖尿病学会ホームページの医療機関検索サイトで検索し、当該医療機関の了解をえて地図上にプロットしました。

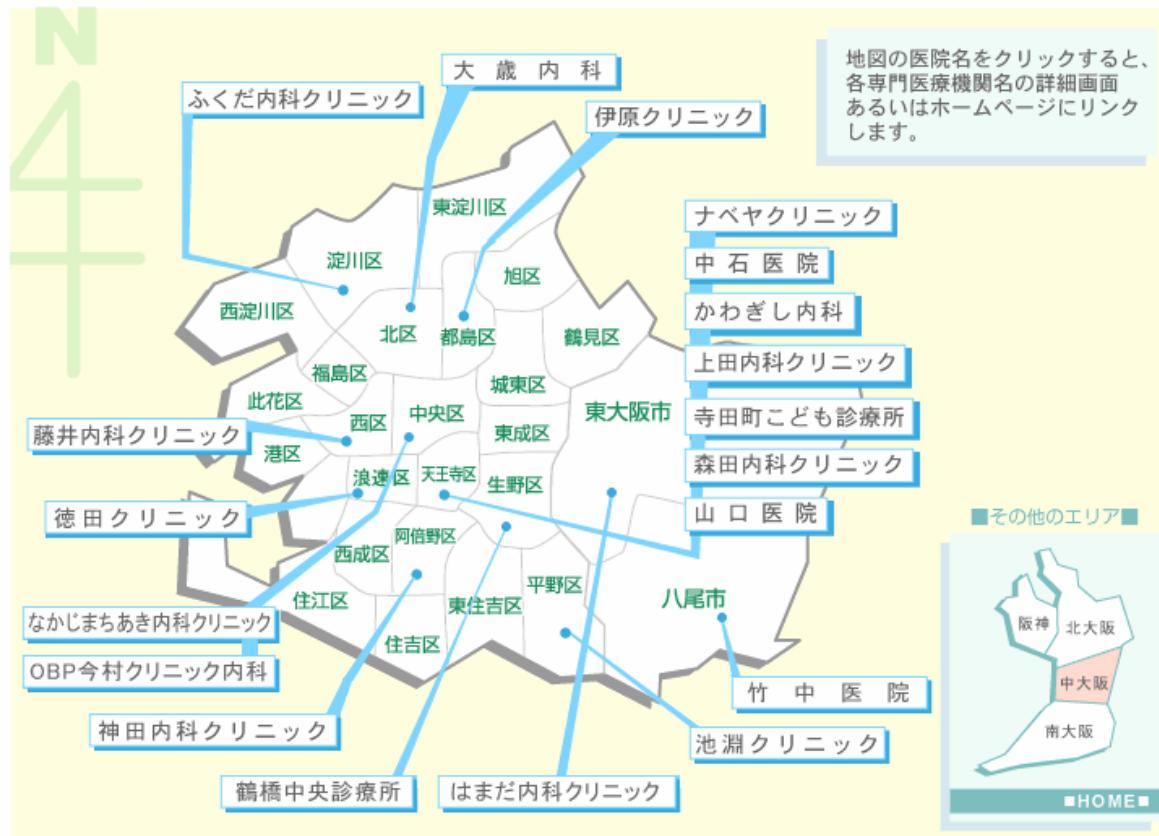
当ホームページの使い方

目的のプロットをクリックすると、医療機関名を明示した拡大地図に移動します。医療機関名をクリックするとその医療機関の詳細画面(一部、ホームページ)に移動します。当該医療機関のホームページに大阪糖尿病専門医クリニックネットワークへのリンクボタンがありますので、専門医療機関と当ホームページを行き来しながら最適の専門医療機関を検索することができます。

TOPICS

スタッフ募集 (目指している方も可)  
糖尿病療養指導士・臨床検査技師・看護師・  
管理栄養士を募集している医療機関

■中大阪地域 糖尿病専門医 ■HOME ■阪神 ■北大阪 ■中大阪 ■南大阪 ■お問い合わせ



糖尿病療養指導士募集について

特許・実用新案

BMI電子ノモグラム

HOMA electronic nomogram (e-nomogram)

糖尿病 甲状腺疾患 高脂血症 ホルモン異常症

中石医院

完全予約制 院長 中石 滋雄

〒543-0001 大阪市天王寺区上本町6丁目2-26 ハイハイタウンビル2階

TEL 06(6191)7117

本日のスライドを、近日中にここにアップロードしますのでご覧ください。

診療案内

院長紹介

スタッフ紹介

指導

検査

診療費用のめやす

上本町・谷町9丁目付近の医療機関の検索法

医療機関の検索法（糖尿病）

医療機関の検索法（甲状腺）

医療機関の検索法（高脂血症）

医療機関の検索法（ホルモン異常症）

# 患者さまのご連絡

- ・電子メールでご連絡ください。
- ・メールのタイトルに関しては患者病用とおかげいただき、患者氏名は記載しないでください。
- ・個人情報の保護に関しては、経験をつみながら考えていくたいと思います。

# さいごに

- 糖尿病患者の激増に伴い、その対応には知識の普及と医療連携がもっとも大切です。
- ただ、調剤薬局と診療所(病院)との連携はまだほとんどなされていません。
- 患者の立場にたってどのようなことが必要なのか、これから一緒に考えさせていただきたいと思っています。

本日は、お休みのところ、ご出席  
いただきありがとうございました。

中石滋雄